

ウェブサイトの営業情報を充実化 新日鉄グループの製品・ソリューションを 用途別にアップ

このたび、新日鉄はウェブサイトの営業関連コンテンツの充実を図った。従来から営業ツールとして鉄鋼製品カタログを掲載してきたが、今回、「品種」と「用途」の2つの切り口で新日鉄だけではなくグループ会社の製品とソリューションをまとめて掲載。さらに国内外での採用事例を写真とともに多数アップした。また、海外のお客様がサイトを訪問したり、海外向けに営業ツールとして活用することを意識して、英語版も立ち上げた。

用途別情報の第一弾として2月に立ち上げたインフラ分野では、「橋梁」「道路」「トンネル」「建築物」「鉄道」「治山治水」「港湾・空港」の6領域をカバー。例えば「建築物」では、建築用鋼材だけでなく建築鋼構造エンジニア

リング、外装材、炭素繊維を利用した補強技術や建築見積算出システムまで網羅している。ウェブサイト製作を担当した営業総括部の桜井亮子は次のように語る。「新日鉄グループでは幅広い鋼材製品を扱うだけではなく、エンジニアリング、新素材、システムソリューションなど多様な事業を行っています。ページ制作にあたっては、どこにどのような製品が使用されているのか一目でわかるように写真や図を多用するとともに、新日鉄グループの強み、製品の特長やソリューション提案をわかりやすくレイアウトするよう心がけました。特に海外展開をする上でウェブサイトは重要な営業ツールの一つと考えており、今後、エネルギーや家電・住設機器分野などを制作・オープンしていく予定です」



営業総括部 桜井 亮子

http://www.nsc.co.jp/

トップページ

「品種」だけでなく「用途」から選べるようになった

分野別に最新の採用事例、新日鉄グループ製品の特長を一目で見ることができる

どの部材にどの製品や技術が使用できるのかを一覧表示